

## 論文審査結果の要旨

報告番号	修 第 1369 号	氏 名	鈴木 加奈子
論文審査担当者	主査 鈴木 久義 副査 中村 大介 副査 稲葉 康子		
<p>論文題名：結帯動作における肩甲骨、体幹、骨盤の動きの関係-利き手側と非利き手側での比較-</p> <p>本論文は、結帯動作すなわち、肩関節内旋および伸展、肘関節屈曲を同時に伴う複合運動について、肩甲骨と体幹、骨盤の動きとの関係および指椎間距離に関係する上肢、体幹、骨盤の動きの因子について利き手側、非利き手側別に明らかにした論文である。</p> <p>目的、方法および得られた結果の分析も明確に示されており、先行研究に関する検討も適切に行われている。</p> <p>本論文におけるオリジナリティは、結帯動作を行う際に、従来、関与が明らかになっている肩関節、肘関節および肩甲骨の動きに加えて、上部体幹および骨盤の動きも関与すること、これらの動きが結帯動作に必要な要素であること、指椎間距離に影響を及ぼす因子は利き手側と非利き手側とでは異なる可能性があること、を検証した点にあると考えられる。</p> <p>さらに、臨床応用に関する展望として、端座位での殿部ストレッチを行うことで、骨盤前傾および体幹前方変位を促し、結果として指椎間距離の短縮が期待できることを明示した点も評価されるべきである。</p> <p>本論文は本学大学院学位論文(修士)審査基準を満たしており、学位論文に値すると判断した。</p>			

(主査が記載)